

歴史～大航海時代の記憶～	4
ドン・ロドリゴ上陸地	
日・西・墨三国交通発祥記念之碑	
加藤まさをと月の沙漠	8
月の沙漠記念公園・月の沙漠記念館	
詩人・かとうまさを	
歴史 ～神社仏閣～	12
イベント情報	16
芸術と文化と歴史	18
おんじゆく散歩 ～海の幸とアクティビティ～	24
おんじゆく散歩 ～里山での発見とアクティビティ～	26
おんじゆく散歩 海コース①	28
おんじゆく散歩 海コース②	30
おんじゆく散歩 里山コース①②	32
お食事処・宿泊先一覧表	34
くらしのガイド	36
広域マップ	38
御宿町・いすみ市・勝浦市・大多喜町	



### 御宿町シンボルキャラクター『エピアミーゴ』って？

平成21年御宿町のシンボルキャラクターを募集し、応募総数431点のなかから決定されました。御宿町の地域特産物である「伊勢えび」と童謡「月の沙漠」のモデルとなった美しい海岸を体験するサーフィン、郷土が誇る400年ほど前の史実により歴史的に交流の深い「メキシコ」の要素を併せ持つキャラクターです。

#### 【エピアミーゴ】

特長：御宿町に在住する小学生のエピ少年。

元気いっぱい、好奇心旺盛な性格。

いろいろなイベントに参加して、

たくさん友達を作ることが好き。

特技：サーフィン

好物：タコス

苦手：カラス



400年ほど前、私たちの先人は嵐で遭難し漂着した  
メキシコへ向かうサン・フランシスコ号の  
乗組員317人の命を、身を挺して救いました。



慶長14(1609)年9月30日未明、メキシコへ航海中のサン・フランシスコ号(乗組員373名)が嵐によって御宿沖で座礁。命からがら泳ぎ着いたドン・ロドリゴ臨時総督をはじめ乗組員317人を村人が総出で救助し、着物や食料を提供しました。

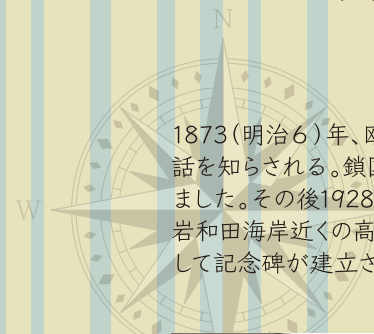
その後、ドン・ロドリゴ一行は当時の大多喜城主本多忠朝を介して、徳川家康や2代将軍の秀忠と謁見し、翌年には家康が三浦按針に建造させた新しい船で無事メキシコへ帰国しました。

(ドン・ロドリゴ見聞録より)





メキシコ合衆国より寄贈された  
ラファエロゲレロ氏作「抱擁」像



1873(明治6)年、欧米を視察中の岩倉使節団はドン・ロドリゴの話を知らされる。鎖国によって忘れられていた史実に再び光がさしました。その後1928(昭和3)年に、ドン・ロドリゴ一行が漂着した岩和田海岸近くの高台に日本とスペイン、メキシコの交通の発祥として記念碑が建立されました。



国際交流の様子

御宿町は400年ほど前の史実から、1978年にメキシコ・アカプルコ市と姉妹都市協定を結び、2013年にはドン・ロドリゴ氏生誕の地メキシコ・テカマチャルコ市と姉妹都市協定を結んでおり、多くのメキシコ人が御宿町を訪れています。



童謡『月の沙漠』は御宿の海岸がモデルとなりました。大正中期より昭和前期にかけて活躍した詩人・抒情画家『加藤まささを』作詞の童謡『月の沙漠』に登場するラクダに乗った王子と姫の像が公園内に設置されています。

童謡「月の沙漠」は平成元年、NHKが行った「ふるさとの歌100選」で千葉県で第1位、全国でも第5位に選ばれ、今もなお、人々の心を魅了しています。

月の沙漠に“沙”が使われている意味——  
童謡「月の沙漠」に出てくる“沙”には「すなはま」の意味がこめられています。学生時代に結核を患った加藤まささをが、静養のために訪れた御宿海岸の風景がモチーフになっており、海岸の砂はみずみずしいことから、砂漠ではなく砂漠となりました。

### 月の沙漠

作詞：加藤まささを 作曲：佐々木すぐる

月の沙漠を はるばると  
旅の駱駝がゆきました

金と銀との鞍置いて  
二つならんでゆきました

金の鞍には銀の甕  
銀の鞍には金の甕

二つの甕は それぞれに  
紐で結んでありました

さきの鞍には王子様  
あとの鞍にはお姫様

乗った二人は おそろいの  
白い上着を着てました

広い沙漠をひとすじに  
二人はどこへゆくのでしょうか

朧にけふる月の夜を  
対の駱駝はとぼとぼと

砂丘を越えてゆきました  
黙って 越えてゆきました



### 月の沙漠記念館

月の沙漠の作詞者であり、御宿をこよなく愛した詩人「加藤まささを」の作品や資料、御宿にゆかりのある文人や画家たちの作品の紹介など、伝統ある御宿の再発見と、新たな文化の創造を目指して建てられた記念館です。



☎0470-68-6389 住所：六軒町505-1  
営業時間：9:00～17:00(最終入館16:30)  
入館料：大人400円/高大生・65歳以上300円/小中生200円  
休館日：水曜日(水曜日が祝日の場合はその翌日)・  
祝日の翌日・年末年始(12月29日～1月3日)  
駐車場：20台



加藤まささをの書斎を移しました。愛用の品が展示されています。



加藤まささをの原画。



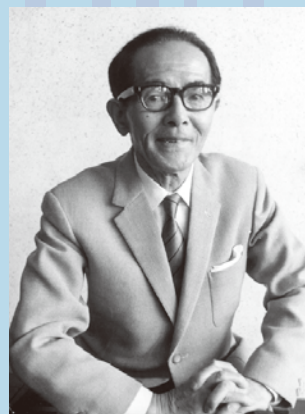
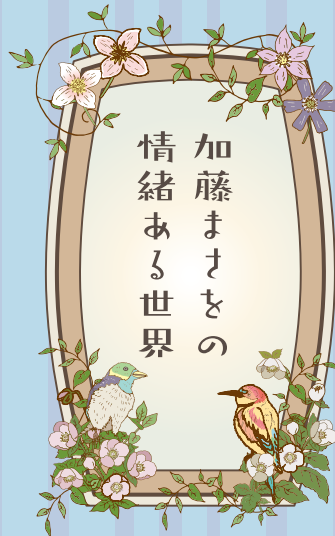
月の沙漠や御宿の海をテーマにしたさまざまなグッズを取り揃えています。



しなのさびくま はるばると

たびのらくだが ゆきました

作詞・加藤 まさよ



加藤まさよは、大正中期より昭和前期にかけて、抒情画の数々を発表し、一時代をきつくとともに大正12年に発表した「月の沙漠」は、御宿海岸がその舞台となりました。このことを永遠に記念するため、昭和44年7月6日美しい御宿の砂丘に、「月の沙漠記念像」が建てられ、この時以来、月の沙漠の発祥地御宿の名は全国に知られるようになりました。以来、月の沙漠記念像は、多くの人々に愛され、月の沙漠の御宿として、町発展の基盤となりました。

